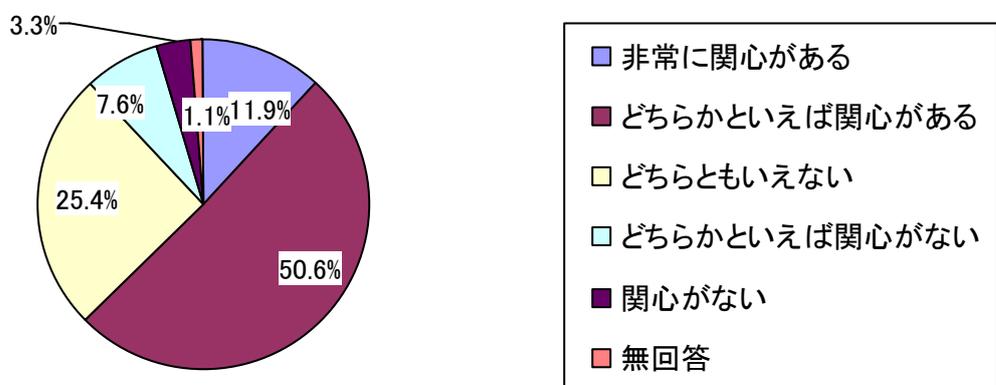


人権問題に関する県民意識調査より

県では、社会状況の変化や、これまでの人権啓発・教育をはじめとした人権施策の推進に伴う県民の人権意識の動向を把握し、今後の人権施策推進の基礎資料にするため、平成 26 年(2014 年) 6 月から 7 月にかけて、県内に居住する満 20 歳以上の県民 3,000 人を対象に、郵送により「人権問題に関する県民意識調査」(全 30 設問)を実施しました(有効回収 1,223 人、有効回収率 40.8%)。その設問の中から、いくつか結果をとりあげてみました。

1 人権の関心度

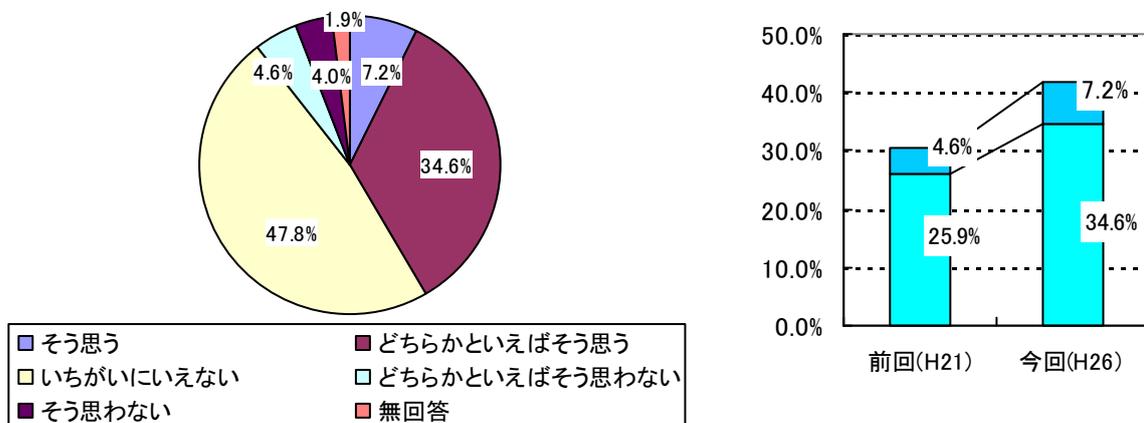
質問) あなたは「人権」についてどうお考えですか？



「人権」について、「非常に関心がある」、「どちらかといえば関心がある」という回答が 62.5%となっています。

2 静岡県における人権尊重意識の定着状況

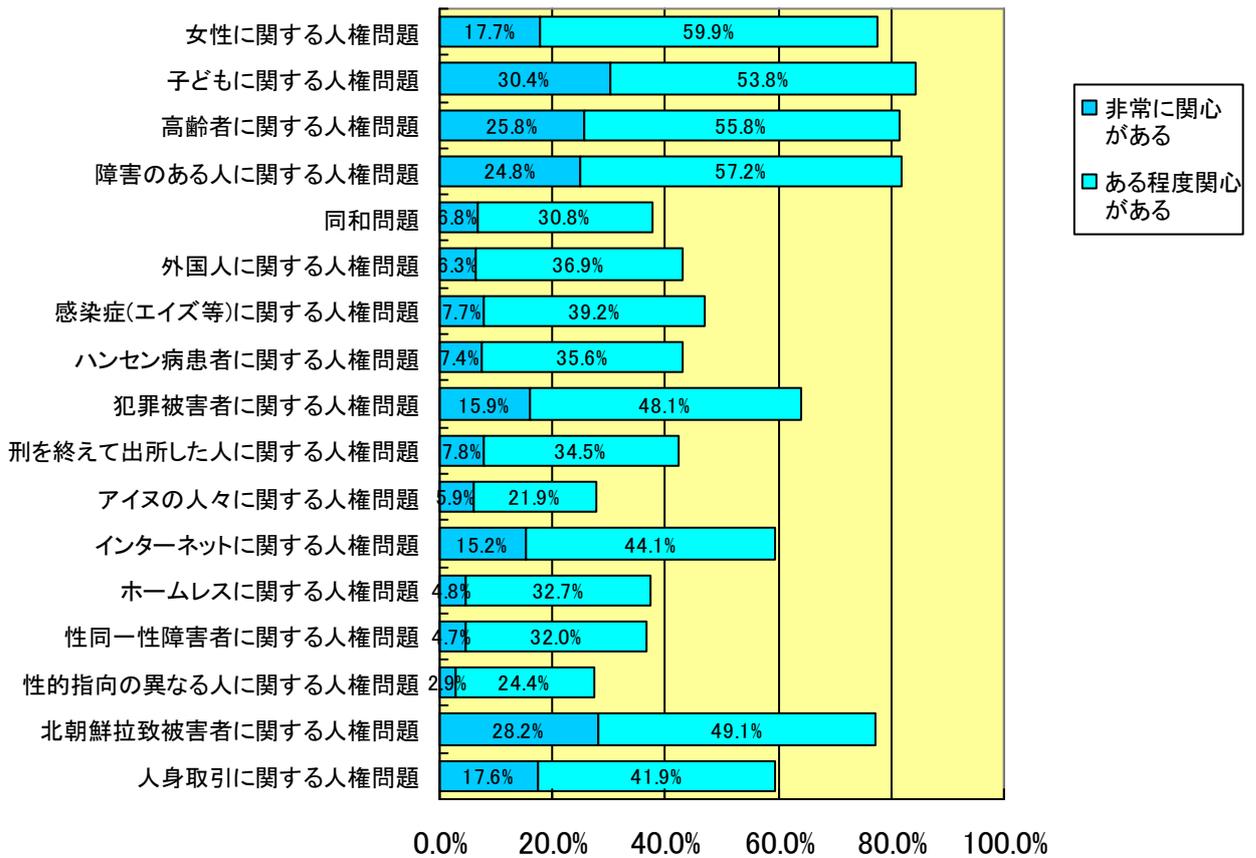
質問) 今の静岡県は「人権尊重の意識が生活の中に定着した住み良い県」ですか？



「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人は合わせて 41.8%で、前回(平成 21 年度)調査(30.5%)より 11.3 ポイント増加しています。

3 関心のある人権問題

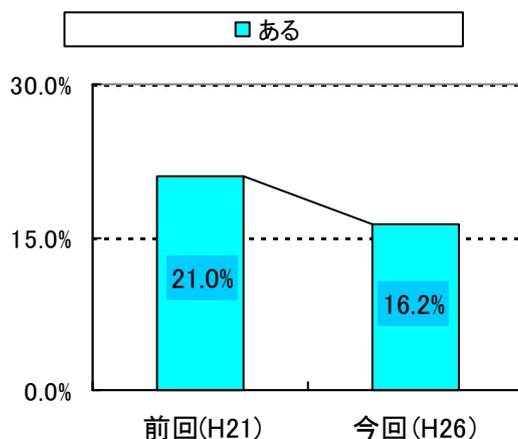
質問) 次に挙げた人権問題にどの程度関心がありますか？



「子ども」「高齢者」「障害のある人」「女性」「北朝鮮拉致被害者」の人権問題などに多くの関心が寄せられています。

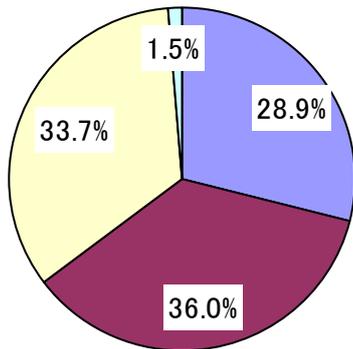
4 人権侵害の経験

質問) この5年間に、自分の人権を侵害されたと思ったことがありますか？

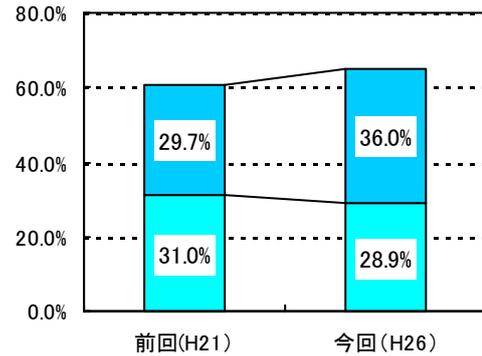


5 同和問題の認知状況

質問 1) 同和問題を知っていますか？



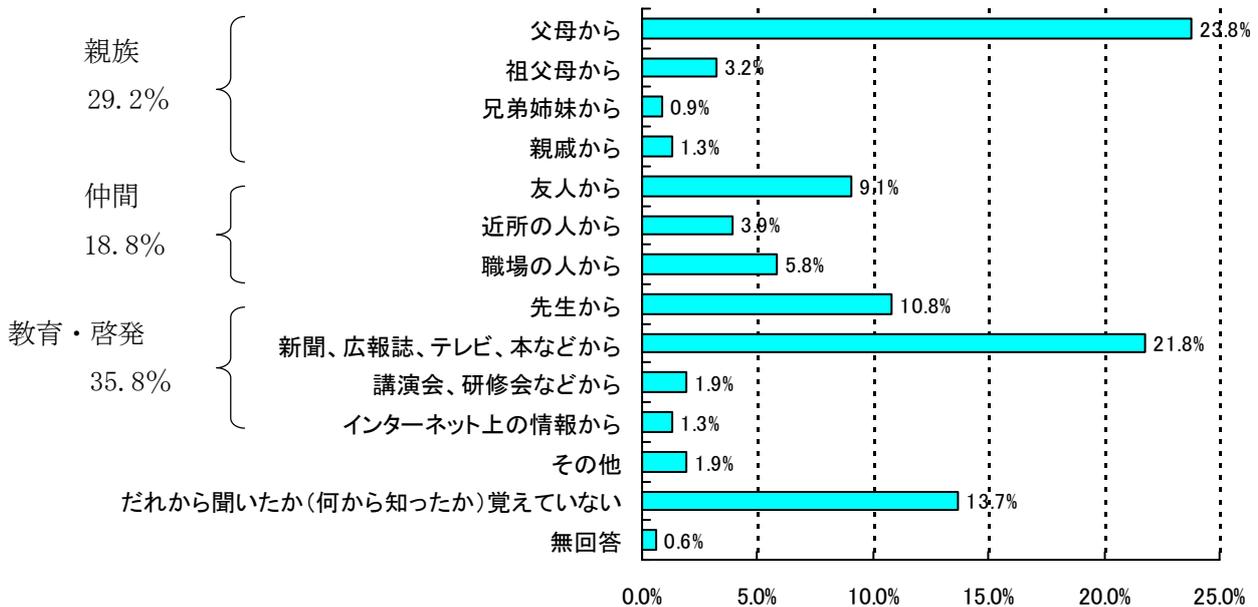
■ 知っている ■ 聞いたことがある



■ 知っている ■ 聞いたことがある □ 知らない □ 無回答

「知っている」、「聞いたことがある」と回答した人の割合は合わせて **64.9%**で、前回(平成 21 年度)の調査(**60.7%**)より 4.2 ポイント増加しました。

質問 2) 同和問題を知った相手(質問 1 で「知っている」「聞いたことがある」と回答した方にお聞きしました。)

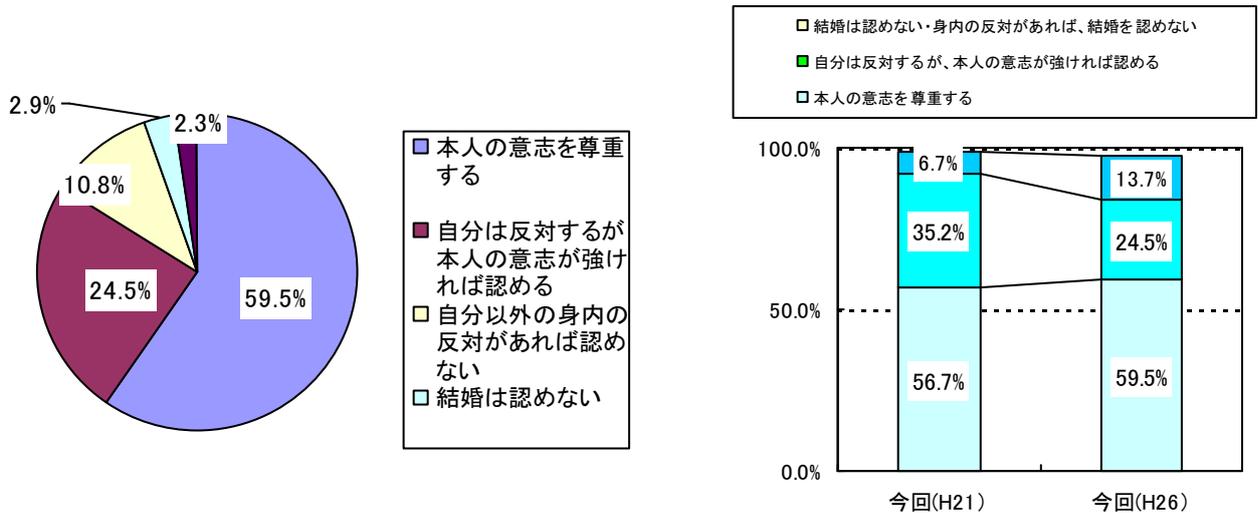


同和問題を「知っている」、「聞いたことがある」人に、同和問題を知った相手は誰からかという質問をしたところ、「父母から」が 23.8%と高く、次いで、「新聞、広報紙、テレビ、本などで」が 21.8%などとなっています。大分類で見ると、親族からは 29.2%、仲間からは 18.8%、教育・啓発は 35.8%と、教育・啓発からが高くなっています。

正しい知識がないと正しい判断ができず、偏見や差別を助長し、ときに加害者となってしまふことがあります。同和問題が人権の根本にかかわる重要な問題であると認識し、偏見や先入観にとらわれず、正しい知識を身に付けることが大切です。

6 同和地区出身者に対する意識

質問) あなたのお子さんが結婚しようとしている相手が同和地区(被差別部落)出身者であることが分かったとき、あなたはどうされますか？

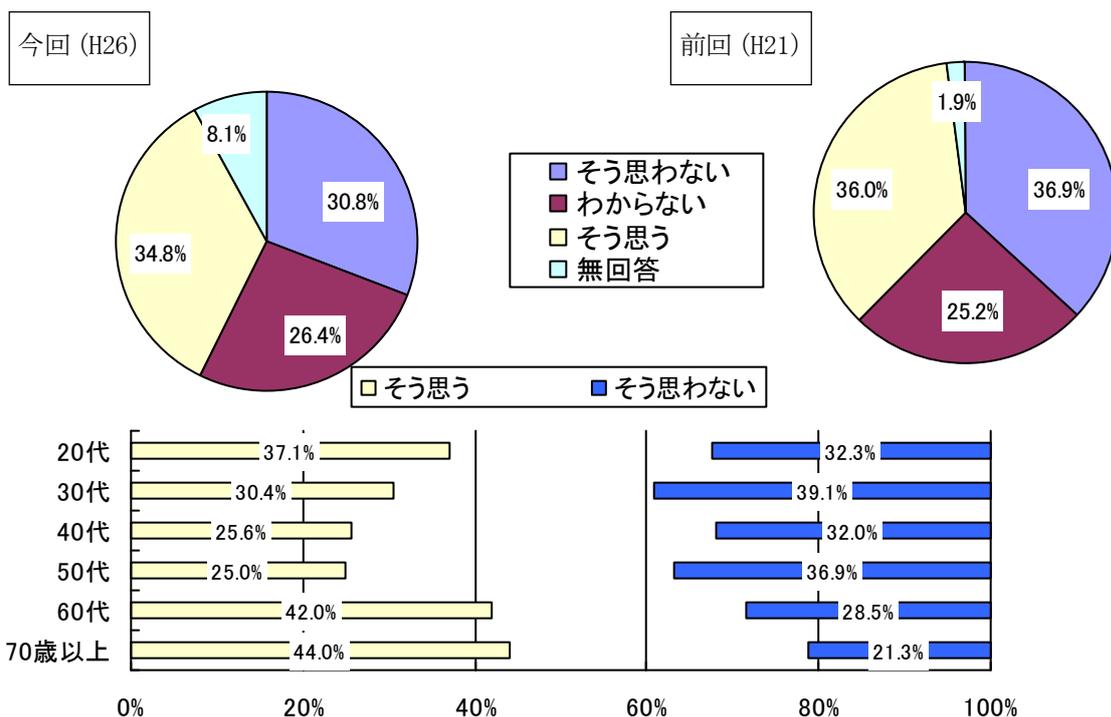


59.5%の人が「子どもの意志を尊重する」と答えているものの、「結婚は認めない」「身内の反対があれば認めない」と回答した人も13.7%いて、前回(平成21年度)の調査(6.7%)より7ポイント増加しています。

結婚は、当事者同士の合意により成立するものです。人間としての基本的人権やその尊厳を認めていくことが大切です。

7 知らない人に同和問題を教えることについて

質問) 「知らない人に同和問題を教えることは、かえって差別を教えることになる。そっとしておけば差別は自然になくなるものだからそっとしておけば良い」という考えについてどう思いますか？

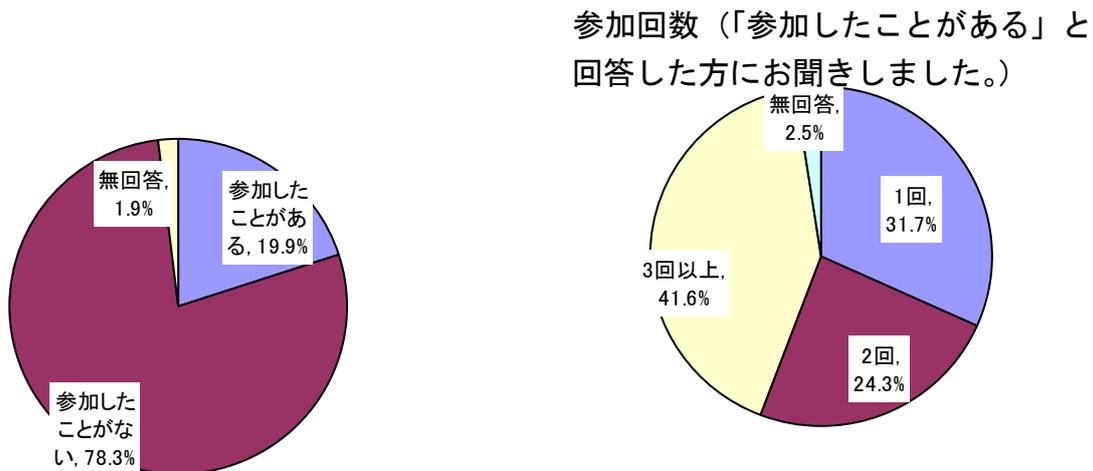


「そう思わない」と回答した人の割合は30.8%、「そう思う」と回答した人の割合は34.8%となっています。「そう思う」は60代以上で高くなっています。

そっとしておいても差別はなくなりません。あやふやな情報やうわさ話で、さらに差別意識が広がってしまうことがあります。差別のない社会をつくるためには、まず自分自身にも関係がある問題としてとらえ、人権意識を高めていくことが大切です。

8 人権啓発・教育への参加状況

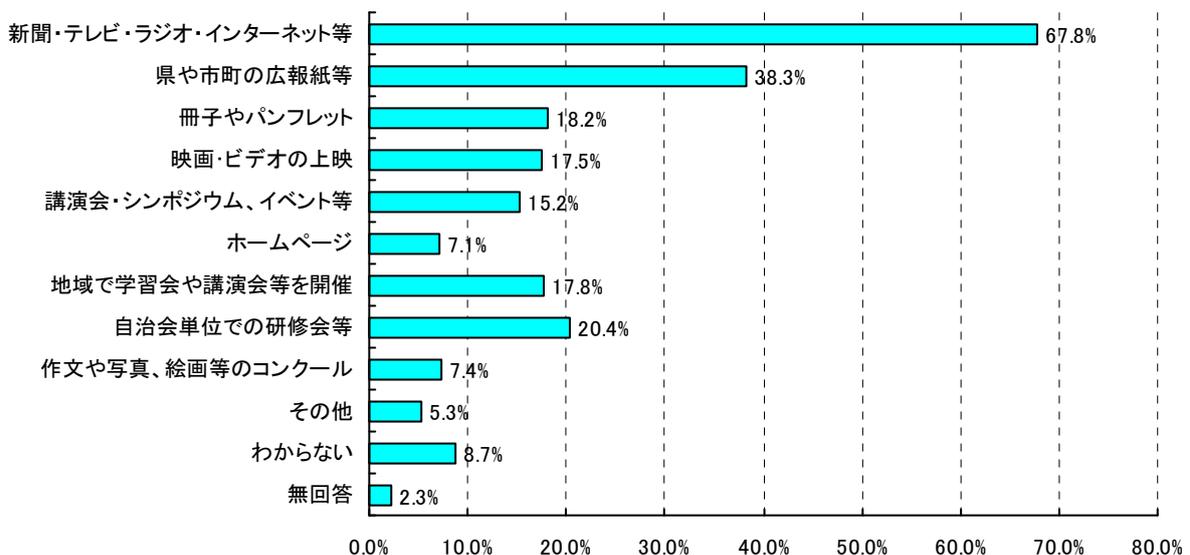
質問) あなたは今までに人権問題に関する講演会、研修会、学習会等にどの程度参加したことがありますか？



参加したことのない人の割合は約8割となっています。

9 効果的な啓発方法

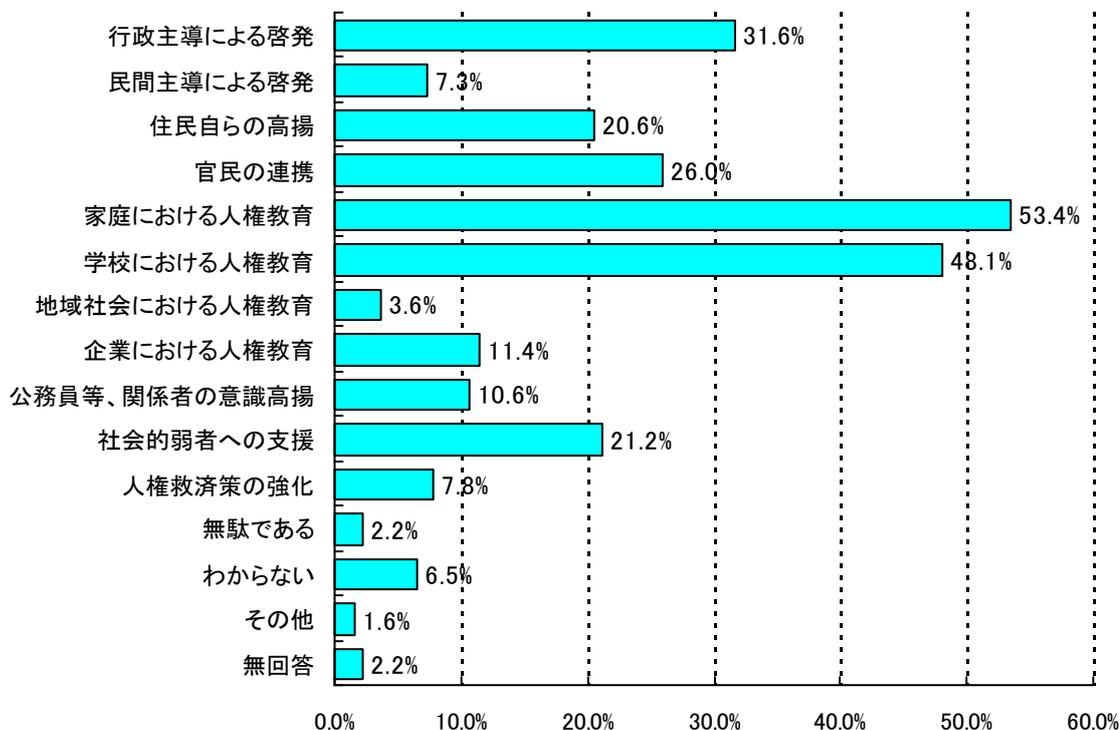
質問) 人権意識を高めるための啓発の方法としては、特にどのようなものが有効と考えられますか？（複数回答）



「新聞・テレビ・ラジオ・インターネット」等のマスメディアを活用した啓発が最も高くなっています。

10 人権が尊重される社会を実現するための取組

質問) 人権が尊重される社会を実現するために、特にどのような取組が必要だと思いますか？(複数回答)



「家庭における人権教育」が53.4%で最も多く、それに続いて「学校における人権教育」が48.1%となっています。

